

県立小川高校 ≪活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）≫

課程	定時制	学科	普通科			R6.5.1 生徒数	(男) 17 (女) 24	計 41	
アクセス	JR 八高線・東武東上線 小川町駅下車 徒歩3分								
＜目指す学校像＞									
基礎学力を向上させ、豊かな心と自主的精神を育み、自己の可能性を伸ばす学校									
＜教育課程等＞ ※ 1									
<ul style="list-style-type: none"> ・働きながら学ぶことのできる、普通科・男女共学の夜間定時制高校です。 ・生徒の学ぶ意欲を大切にして、基礎基本に基づいたわかりやすい授業を行います。 ・各学校行事や体験活動を通して、仲間とともに充実した学校生活を送ります。 ・蔵書約6万冊を誇る県内有数の図書館があります。 									
＜本校が求める生徒＞ ※ 2									
<ol style="list-style-type: none"> 1 学校のルールをしっかり守ることができる生徒 2 目標に向かって、努力のできる生徒 3 積極的に学ぶ意欲のある生徒 4 地域や社会に関心を持ち、多様性を認め合う生徒 									
＜学校行事＞									
<ul style="list-style-type: none"> ・全日制と同日開催を実施する葦火祭（文化祭） ・焼き芋会（学校で育てたサツマイモ使用）やボウリング大会 ・4年生で実施する修学旅行、春季と秋季に全学年で実施する校外学習 ・学年の枠を超えて（色別団対抗戦）実施する体育祭（10月） 									
＜部活動＞									
バドミントン部（週3日程度活動）									
＜家庭・地域との連携＞									
<ul style="list-style-type: none"> ・3者面談を年2回実施 ・文化祭などの行事に保護者の参加 ・通学路等の清掃活動 									
進 路	R6.3 卒業生	四大	0人	短大	1人	専門	1人	就職	5人
	傾向	<p>在学中の職場をそのまま継続する生徒、新たな職場を開拓する生徒、大学・短大・専門学校等の上級学校へ進学する生徒、進路先は様々です。本校で学び培った強い精神力と学習の成果を活かし、それぞれの分野へはばたきます。</p>							

【学校教育法施行規則第103条の2】高等学校における三つの方針
裏面 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）
※1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
※2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

県立小川高校定時制課程 ～生徒の成長物語～

重点目標

- 1 主体的・対話的な授業と個に応じた学習指導により、基礎学力を向上させる。
- 2 基本的生活習慣の確立と個に応じた資質や能力を育成する指導の充実により、自立した自己を確立させる。
- 3 多様な他者と連携し、学校行事と体験学習の充実により、豊かな心を育む。

行事

- ◇ 春の遠足では、クラスの仲間との交流を深めます。
- ◇ 体育祭では、縦割りチームを編成し、一致団結したチームワークを披露します。保護者の方も競技に参加しています。



部活動

- ◇ 週3日、バドミントン部が活動しています。



4年生

- ◇ 卒業後の目標実現に向けて、積極的に活動します。
- ◇ 後輩の指導を含め、最上級生として学校に歴史を刻みます。

体験学習

地域等と連携し、様々な体験学習をします。



ハウインパーティー



じゃがいもの定植



親子食事会

3年生

- ◇ 生徒会活動・委員会活動など学校の要として活躍してもらいます。
- ◇ 卒業後の目標を具体化し、実現に向けて積極的に活動します。

本校の教職員

本校の教職員は、生徒一人一人に真剣に向き合い、きめ細かい指導を行っています。

「頑張る生徒をとことん面倒見る。」を合言葉に、日々の教育活動に取り組んでいます。

1年生

- ◇ 基本的生活習慣の確立と、学校生活の定着を図ります。
- ◇ 4年後の自立を目指し、学習支援と就労支援を始めます。

2年生

- ◇ 中間学年として、生徒会活動・委員会活動など積極的に参加します。
- ◇ 学業と就労の両立を図り、学校での中心として活躍してもらいます。

4年後の目標

- ◇学習面 基礎学力の向上
- ◇進路面 生徒の自立を促し進路を実現
- ◇生活面 規律ある生活習慣の確立